

## 100周年記念基金国際交流助成規程細目

### (総 則)

第1条 本細目は、創立100周年記念事業の国際交流基金、および桜井基金を原資とする国際交流活動への助成に係わる事項を定めるものである。

### (目 的)

第2条 本会での国際交流活動を支援し、研究者を育成することを目的とする。

### (助成対象ならびに運用費)

第3条 次の3項目の国際交流活動に対して費用の助成を行う。

本助成に係わる運用費は基金の利子によるものとし、毎年配分は下記に準じて行う。

なお、財務会計理事は、翌年の助成額の総額を、別に定める「会計規程細目」にもとづき、運用年度の前年度の12月末までに決定する。

#### (1) 国際交流基金による国際会議への出席

- ・本学会の活動に積極的に参加する若手会員(35才程度以下の人)が、海外で開催される国際会議において論文を発表する場合の交通費、滞在費等の補助  
助成額については、研究調査会議が決定する金額とし、調査・規程1-3-1に示す審査指針に関する申し合わせを目安とする。年間最大助成件数：20件

#### (2) 桜井基金による海外派遣

- ・海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者への交通費、滞在費等の補助  
助成額については、研究調査会議が決定する金額とする。  
年間最大助成件数：4件  
桜井基金の年度予算額に余剰が発生した場合、かつ国際交流基金の年度予算額に不足が発生した場合は、余剰金を、国際交流基金による国際会議への出席に充当することができる。

#### (3) 国際交流基金による外国学会との交流活動

- ・日本で開催する電気学会主催の会議において、その分野の著名な海外の研究者・技術者を講演者・招聘論文発表者として招聘するための交通費・滞在費等の補助  
助成額については、研究調査会議が決定する金額とし、調査・規程1-3-1に示す審査指針に関する申し合わせを目安とする。  
年間最大助成件数：10件

### (申 請)

第4条 助成の申請は所定の申請書(添付)により行う。なお、申請者、推薦者、申請時期は付1による。また申請の公募は、申請期限の2ヶ月前の本学会雑誌の会告、学会ホームページにより行う。

### (審議、選考)

第5条 国際交流のため本学会会員が企画した会議への招聘または出席目的を、本学会活動の国際化促進の観点から審査、選考するものとし、これを研究調査会議において行う。  
なお助成決定時期は付1による。

### (報 告)

第6条 国際交流助成を受けた当事者(外国学会にあつては国際会議企画責任者)は、活動完了後1ヶ月以内に活動結果の概要を研究調査会議宛に報告しなければならない。提出された報告書について

は、研究調査会議の判断で、本学会ホームページに掲載することができる。

(付則)

1. 平成3年3月26日、理事会にて承認。
2. 平成3年5月24日より施行する。
3. 平成13年4月17日、調査会議にて第2条、第3条の見直しについて承認。
4. 平成14年4月10日、調査会議にて付表の見直しについて承認。
5. 平成16年9月9日、研究経営会議にて付表の見直しについて承認。
6. 平成18年2月9日、研究経営会議にて一部改正。
7. 平成18年4月26日、理事会にて一部改正。
8. 平成19年2月6日、研究経営会議にて付表と申請書の見直しについて承認。
9. 平成22年2月5日、研究経営会議にて一部改正。
10. 令和2年2月4日、研究調査会議にて一部改正。
11. 令和3年2月15日、研究調査会議（電子メールによる審議）にて一部改正。

## 付1 100周年記念基金国際交流助成への申請者、推薦者、申請時期、決定時期

	国際交流基金による国際会議への出席	桜井基金による海外派遣	国際交流基金による外国学会との交流活動
申請者	出席者本人。	出席者本人	会議企画責任者
助成対象者の条件	海外で開催される国際会議において論文を発表する本学会若手会員(35才程度以下の人)	海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者	日本で開催する電気学会主催の会議における、その分野の著名な海外の研究者・技術者の講演者・招聘論文発表者
申請時期 決定時期	会議開催時期が  ・運用年度上期分  【4月から9月】  前年度12月末まで申請受付、3月末までに助成可否と助成金額を決定する。  ・運用年度下期分  【10月から3月】  当年度6月末まで申請受付、9月末までに助成可否と助成金額を決定する。	・同左	・同左
推薦者	・電気学会フェローもしくは上級会員であること  ・申請は推薦者1名につき1件とする  ・決定機関である研究調査会議の構成員は、自身が推薦者となっている申請の議決権は持たない  ・同一推薦者からの申請は、前回の受諾された申請から3年以上経過していること	・同左	

## 電気学会創立 100 周年記念 国際交流基金による国際会議への出席助成申請書

(運用年度上期分：会議開催 4 月～9 月分, 申請締切：前年度 12 月末)

(運用年度下期分：会議開催 10 月～3 月分, 申請締切：当年度 6 月末)

年 月 日

1 国際会議出席者	
氏名(フリガナ)・生年月日	年 月 日生 ( 歳)
会員番号	所属部門 A B C D E
自宅 住所・電話番号	〒 TEL :
勤務先・所属・役職 (学生の場合は学年を明記 して下さい) 住所・電話番号・e-mail	〒 TEL :  e-mail :
(大学学部または高専専攻科に 在籍中の場合) 大学院修士課程への進学予定	有 ・ 無
(大学院修士課程に在籍中の場 合) 大学院博士課程への進学予定	有 ・ 無
国際会議における役割	A. 論文発表 (口頭) B. 論文発表 (ポスター) C. その他 ( )
2 国際会議の概要	
会 議 名 (原文) (邦文)	
開催期間	年 月 日 ～ 年 月 日 日間
開催地 (国名および都市名)	
母体機関	
主催機関	
開催頻度	

参加主要国	か国
参加予定者数	名
3 論文発表者は発表論文の題目および概要, それ以外の方は会議での役割	
4 論文の受理に関する現状 (該当番号に○を付し, 必要事項記入)	
A. 既に発表が決定している	
B. まだ採否が決定していない (採否は平成 年 月頃決定の予定)	
C. その他 ( )	
5 渡航期間	
年 月 日 ~ 年 月 日 日間	
(当国際会議出席前後の渡航期間についても記入のこと。)	
滞在中の日程	
6 渡航に要する交通費, 滞在費の総額	
円	
7 これまでの国際会議への渡航回数	
回	
8 これまでに本助成を受けたことの有無	
有 ( 年) ・ 無	
9 これまでの電気学会の大会・研究会での発表実績	
回	
10 これまでの電気学会の論文誌への論文掲載回数	
回	
11 これまでに電気学会優秀論文発表賞 (賞 A もしくは B) を受賞した年と回数	
有 ( 年) 回 ・ 無	

(添付資料)・招待状の写

- ・ (論文発表の場合)

論文または発表申込書の写 : 出席者がファーストオーサーであることが確認できる資料

推 薦 者

(フリガナ)

氏 名  
会員番号  
自宅住所・電話番号

印  
・所属部門 A B C D E

勤務先 (役職・住所・電話番号・e-mail)

本助成申請の有資格者であるためには、下記の項目全てを満たす必要があります。必ず確認してチェック欄に  の上、申請書を提出して下さい。

- 申請者は申請締切の3ヶ月前の時点で、電気学会会員となっているか、 申請者は35才程度以下か、  
 前回の受諾された申請 (桜井基金による海外派遣助成を含め) から3年以上経過しているか、 推薦者は電気学会フェローもしくは上級会員となっているか、 推薦者は過去3年以内に本助成申請 (桜井基金による海外派遣助成を含め) によって、第三者を国際会議へ派遣していないか。 申請は推薦者1名につき1件となっているか。

[本学会記入欄] 認可額： \_\_\_\_\_ / 受理 年 月 日 / 採 否

送付先：電気学会 事業サービス課

(〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8F)

電話：03-3221-7313, Fax：03-3221-3704, e-mail：event@iee.or.jp

## 桜井基金による海外派遣助成申請書

(運用年度上期分：会議開催 4月～9月分，申請締切：前年度12月末)

(運用年度下期分：会議開催 10月～3月分，申請締切：当年度6月末)

年 月 日

1 国際会議出席者	
氏名(フリガナ)・生年月日	年 月 日生 ( 歳)
会員番号	所属部門 A B C D E
自宅 住所・電話番号	〒 TEL :
勤務先・所属・役職 (学生の場合は学年を明記 して下さい) 住所・電話番号・e-mail	〒 TEL :  e-mail :
国際会議における役割	A. 論文発表 (口頭) B. 論文発表 (ポスター) C. その他 ( )
2 国際会議の概要	
会 議 名 (原文) (邦文)	
開催期間	年 月 日 ～ 年 月 日 日間
開催地 (国名および都市名)	
母体機関	
主催機関	
開催頻度	
参加主要国	か国
参加予定者数	名
3 論文発表者は発表論文の題目および概要，それ以外の方は会議での役割	

4	論文の受理に関する現状 (該当番号に○を付し, 必要事項記入)
	A. 既に発表が決定している B. まだ採否が決定していない (採否は平成 年 月頃決定の予定) C. その他 ( )
5	渡航期間
	年 月 日 ~ 年 月 日 日間 (当国際会議出席前後の渡航期間についても記入のこと。) 滞在中の日程
6	渡航に要する交通費, 滞在費の総額
	円
7	これまでの国際会議への渡航回数
	回
8	これまでに本助成を受けたことの有無
	有 ( 年) ・ 無
9	これまでの電気学会の大会・研究会での発表実績
	回
10	これまでの電気学会の論文誌への論文掲載回数
	回
11	これまでに電気学会優秀論文発表賞 (賞 A もしくは B) を受賞した年と回数
	有 ( 年) 回 ・ 無

(添付資料)・招待状の写

- ・ (論文発表の場合)

論文または発表申込書の写 : 出席者がファーストオーサーであることが確認できる資料

推 薦 者

(フリガナ)

氏 名

印

会員番号

・所属部門 A B C D E

自宅住所・電話番号

勤務先 (役職・住所・電話番号・e-mail)

本助成申請の有資格者であるためには、下記の項目全てを満たす必要があります。必ず確認してチェック欄に  の上、申請書を提出して下さい。

- 本申請は電力技術に関する国際会議への出席のためか、 申請者は申請締切の3ヶ月前の時点で、電気学会会員となっているか、 前回の受諾された申請 (国際会議への出席助成を含め) から3年以上経過しているか、 推薦者は電気学会フェローもしくは上級会員となっているか、 推薦者は過去3年以内に本助成申請 (国際会議への出席助成を含め) によって、第三者を国際会議へ派遣していないか。  
 申請は推薦者1名につき1件となっているか。

[本学会記入欄] 認可額： \_\_\_\_\_ / 受理 年 月 日 / 採 否

送付先：電気学会 事業サービス課

(〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8F)

電話：03-3221-7313, Fax：03-3221-3704, e-mail：event@iee.or.jp

# 電気学会創立 100 周年記念 国際交流基金による外国学会との交流活動助成申請書

(運用年度上期分：会議開催 4 月～9 月分，申請締切：前年度 12 月末)

(運用年度下期分：会議開催 10 月～3 月分，申請締切：当年度 6 月末)

申請者 (会議主催者)

(フリガナ)

氏名

印

会員番号

所属部門 A B C D E

自宅住所 〒

TEL :

勤務先・所属・役職

勤務先住所 〒

TEL :

e-mail :

申請者の本会議での役職 (例：運営委員長，論文委員会委員長) :

平成 年 月 日

1 会議	
会議名 (原文)	
(邦文)	
開催期間	年 月 日 ~ 年 月 日 日間
開催機関	
共催・協賛機関	
開催地 (会場，所在地)	
参加主要国	か国
参加予定者数	名
2 会議開催主旨と主要行事内容 (会議を日本で開催するに至った経過・理由を含む)	

3 招 聘 者	
氏 名	
国 籍	
勤務先・所属・役職 住所・電話番号	
同一会議に複数の招聘 を行う場合の優先順位	( 番目 / 人中)
招聘目的	
当該分野に おける著名度	
4 招聘経費 (単位：千円)	
総 額	( )
内 訳	渡 航 費 ( ) 国内滞在費 ( )
	国内交通費 ( ) 宿泊費他 ( )
	カッコ内は助成申請額

[本学会記入欄] 認可額： / 受理 年 月 日 / 採 否

送付先：電気学会 事業サービス課

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8F)

電話：03-3221-7313, F A X：03-3221-3704, e-mail：event@iee.or.jp